

アルファジャパン美容専門学校

学校自己評価報告書 (平成30年度)

目次

1. 教育理念・目標

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
- 学校における職業教育の特徴は何か
- 社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想は抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生・保護者に周知されているか

2. 学校運営

- 目的に沿った運営方針が策定されているか
- 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 運営組織や意思決定機能は、規則などにおいて明確化されているか
- 人事・給与に関する組織整備など、意思決定システムは整備されているか
- 教育活動などに関する情報公開が適切になされているか

3. 教育活動

- 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方策などが作成されているか
- 教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえて、学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか
- 美容業界の連携によりカリキュラムの作成・見直しなどが実施されているか
- 美容業界における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか
- 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確か
- 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での位置づけはなされているか
- 人材育成目標の達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
- 美容分野における先端技術・知識を習得するための研修や、教員の指導力の育成などの向上のための取り組みが行われているか
- 職員の能力開発のための研修は行われているか

4. 学習成果

- 就職率の向上はなされているか
- 美容師資格の取得はなされているか
- その他美容関連の資格取得はなされているか
- 退学率の低減が図られているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍・評価を把握しているか
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか

5. 学生支援

- 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 学生相談に関する体制は整備されているか
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 学生の健康管理の支援体制は整備されているか
- 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 学生の生活環境への支援体制はあるか
- 保護者と適切に連携しているか
- 卒業への支援体制はあるか
- 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- 高校との連携による教育・職業教育の取り組みが行われているか

6. 教育環境

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか
- 学校外の実務実習・インターンシップの体制は整備されているか
- 海外研修などの実施の体制は整備されているか
- 防災に対する体制は整備されているか

7. 学生募集

- 学生募集活動は適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 学費は妥当なものとなっているか

8. 財務

- 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 財務に関する会計監査は適正に行われているか
- 財務情報公開の体制整備はできているか

9. 法令などの遵守

- 法令・専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に対し、その保護のための対策がなされているか
- 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 自己評価を公開しているか

10. 社会貢献・地域貢献

- 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献が行われているか
- 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか
- 地域に対する公開講座・教育訓練の受託などが積極的に行われているか

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地		
学校法人本田学園 アルファジャパン 美容専門学校	平成18年3月17日	本田 宗一郎	〒670-0921 兵庫県姫路市綿町148番地 (電話) 079-282-8282		
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地		
学校法人 本田学園	平成18年3月17日	本田 順子	〒670-0921 兵庫県姫路市綿町148番地 (電話) 079-282-8282		
目的	サロン関係機関との連携のもと、就職先では即戦力につながる能力を育成し、教育水準の維持向上のための職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的とする。				
課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了 に必要な総授 業時数又は総 単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
衛生課程	美容科	2年(昼)	2163単位時間 (又は単位)	平成20年3月12 日	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	630単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	870単位時間 (又は単位)	663単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人	40人	4人	11人	15人	
生涯学習環境の整備に関する 特記事項 (任意記載)		美容科通信課程の設置をしています			

アルファジャパン美容専門学校教員一覧表

学校名	学校法人本田学園 アルファジャパン美容専門学校		所在地	〒670-0921 兵庫県姫路市綿町1 4 8 番地 TEL : 079-282-8282 FAX : 079-282-9292	
職名	担当教科	氏名	職名	担当教科	氏名
理事長	美容文化論	本田 順子	教員	資質表現	本田 久美
校長	衛生管理 美容実習 美容技術理論 保健 文化論 運営管理 関係法規・制度	本田 宗一郎	教員	物理・化学	多根 貞武
主任	運営管理 美容技術理論 美容実習 衛生管理 美容総合技術 化粧品化学 まつ毛エクステ	安東 達也	教員	文化論	森口 毅
教員	美容技術理論 美容実習 保健 美容総合技術 ネイル	清水 聡	教員	関係法規・制度	古寺 敏秀
教員	美容技術理論 美容実習 美容総合技術 まつ毛エクステ	西野 朝子	教員	美容総合技術 美容実習	井植 勉
教員	美容総合技術 メイク	宗接 麻里奈	教員	エステ	杉森 きぬる
教員	エステ	津田 淳子	教員	美容総合技術 美容実習	赤崎 喜彦

教員	メイク	近藤 亜紀	事務局		池淵 雅生
教員	ネイル	岩崎 久美子	事務局		乗船 淳子

1. 教育理念・目標

評価

評価項目	採点
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
学校における職業教育の特色は何か	3
社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想は抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

現状

学校の理念・将来構想・育成人材像・職業教育は、はっきりしている。

課題と改善点

全職員が将来構想を抱いているか明確にする。

昨年の課題と改善点

学校新聞の発行を10年目で行った。今後何年ごとに発行していくか財務含め決定していけばよいのではないかと。

実践教育を行っているが現状のサロン以外からも来て頂いているいろいろな店舗の技術を習ったと思う。

2. 学校運営

評価

評価項目	採点
目的に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則などにおいて明確化されているか	4
人事・給与に関する組織整備など、意思決定システムは整備されているか	3
教育活動などに関する情報公開が適切になされているか	4

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

現状

運営方針・計画策定・意思決定は、明確にされている。

課題と改善点

なし

昨年の課題と改善点

昼間生が定員に達するように努力しなければならない。

3. 教育活動

評価

評価項目	採点
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方策などが作成されているか	3
教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえて、学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか	4
美容業界の連携によりカリキュラムの作成・見直しなどが実施されているか	3
美容業界における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確か	3
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での位置づけはなされているか	4
人材育成目標の達成に向け、授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
美容分野における先端技術・知識を習得するための研修や、教員の指導力の育成などの向上のための取り組みが行われているか	3
職員の能力開発のための研修は行われているか	3

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

現状

教員研修は行っているが、先端技術を習得するものを増やしていく。

課題と改善点

教員研修の内容の見直し。

昨年の課題と改善点

教員に対して技術面を習得するための研修を行う。

資格取得などを1、2年に一度行き非常勤講師が受け持っている課目でも国家試験対策ができるようにした方がよいのでは。

4. 学習成果

評価

評価項目	採点
就職率の向上はなされているか	4
美容師資格の取得はなされているか	4
その他美容関連の資格取得はなされているか	3
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍・評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

現状

年度		入学者数		退学者数		卒業者数		就職者数	
			計		計		計		計
平成 21 年度生	男	2名	6名	0名	2名	2名	4名	2名	4名
	女	4名		2名		2名		2名	
平成 22 年度生	男	8名	41名	1名	9名	7名	32名	4名	29名
	女	33名		8名		25名		25名	
平成 23 年度生	男	11名	42名	3名	7名	8名	35名	8名	35名
	女	31名		4名		27名		27名	
平成 24 年度生	男	12名	27名	3名	4名	9名	23名	9名	23名
	女	15名		1名		14名		14名	
平成 25 年度生	男	7名	21名	0名	4名	7名	17名	7名	17名
	女	14名		4名		10名		10名	
平成 26 年度生	男	4名	31名	1名	6名	3名	25名	3名	25名
	女	27名		5名		22名		22名	

平成 27 年度生	男	5名	15名	1名	4名	4名	11名	4名	11名
	女	10名		3名		7名		7名	
平成 28 年度生	男	2名	15名	1名	3名	1名	12名	1名	12名
	女	13名		2名		11名		11名	
平成 29 年度生	男	10名	17名	0名	0名	名	名	名	名
	女	7名		0名		名		名	
平成 30 年度生	男	10名	19名	名	0名	名	名	名	名
	女	9名		名		名		名	

※29年度生・30年度生については平成30年3月31日時点

■本校における美容師国家試験合格率（昼間生）

年度	合格率
平成 19 年度生	80%
平成 20 年度生	100%
平成 21 年度生	100%
平成 22 年度生	96.7%
平成 23 年度生	68.6%

年度	合格率
平成 24 年度生	95.5%
平成 25 年度生	94.1%
平成 26 年度生	100%
平成 27 年度生	100%
平成 28 年度生	91.6%

■ 美容師国家資格取得以外でも各種検定の取得を積極的に奨励している

【JMA メイク検定結果】

平成 25 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
4 級	12 人	2 人	0 人	0 人	14 人	85%
3 級	10 人	0 人	0 人	1 人	11 人	90%

平成 26 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
4 級	25 人	1 人	0 人	1 人	27 人	92%
3 級	26 人	0 人	0 人	1 人	27 人	96%

平成 27 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	12 人	0 人	0 人	0 人	12 人	100%

【ケサランパサランメイク検定結果】

平成 28 年度総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	13 人	0 人	0 人	0 人	13 人	100%

平成 29 年度総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	17 人	0 人	0 人	0 人	17 人	100%

【JNA 日本ネイリスト技能検定結果】

平成 26 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	9 人	11 人	0 人	6 人	26 人	34%

平成 27 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	2 人	9 人	0 人	0 人	11 人	18.1%

平成 28 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	9 人	12 人	0 人	0 人	21 人	42.8%

平成 29 年度総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	14 人	3 人	0 人	0 人	17 人	82.4%

【日本まつ毛エクステンション協会 ジュニアアイデザイナー検定結果】

平成 25 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	6 人	0 人	0 人	0 人	6 人	100%

平成 26 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	12 人	5 人	0 人	0 人	17 人	70%

平成 27 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	21 人	4 人	0 人	0 人	25 人	84%

平成 28 年度 総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	11 人	0 人	0 人	0 人	11 人	100%

平成 29 年度総合結果

受験級	合格	不合格	失格	欠席	受験者数	合格率
3 級	11 人	0 人	0 人	0 人	11 人	100%

■ 通信生の状況

年度		入学者数		退学者数		卒業者数	
			計		計		計
平成 19 年度生	男	8 名	24 名	1 名	4 名	7 名	20 名
	女	16 名		3 名		13 名	
平成 20 年度生	男	10 名	22 名	2 名	2 名	8 名	20 名
	女	12 名		0 名		12 名	
平成 21 年度生	男	8 名	19 名	2 名	5 名	6 名	14 名
	女	11 名		3 名		8 名	
平成 22 年度生	男	1 名	7 名	1 名	2 名	0 名	5 名
	女	6 名		1 名		5 名	
平成 23 年度生	男	8 名	20 名	1 名	3 名	7 名	17 名
	女	12 名		2 名		10 名	
平成 24 年度生	男	2 名	10 名	0 名	1 名	2 名	9 名
	女	8 名		1 名		7 名	
平成 25 年度生	男	12 名	22 名	1 名	2 名	9 名	20 名
	女	10 名		1 名		11 名	
平成 26 年度生	男	16 名	40 名	5 名	6 名	11 名	34 名
	女	24 名		1 名		23 名	
平成 27 年度生	男	10 名	37 名	2 名	6 名	—	—
	女	27 名		4 名		—	
平成 28 年度生	男	7 名	40 名	1 名	8 名	—	—
	女	33 名		7 名		—	
平成 29 年度生	男	9 名	40 名	1 名	1 名		
	女	31 名		0 名			

■本校における美容師国家試験合格率（通信生）

年度	合格率
平成 19 年度生	36.8%
平成 20 年度生	75.0%
平成 21 年度生	21.4%
平成 22 年度生	80.0%

年度	合格率
平成 23 年度生	87.5%
平成 24 年度生	77.7%
平成 25 年度生	57.0%
平成 26 年度生	86.7%

課題と改善点

退学者は減少傾向にあり良い。卒業生の就職先等の把握をしていく。

昨年の課題と改善点

昼間生の退学は減少しているが、通信生はサロンをやめて学校も退学する学生がいるためサロンとの連携を活かす。通信生の勤務状態など少し知っておくほうが良い。

5. 学生支援

評価

評価項目	採点
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
学生の健康管理の支援体制は整備されているか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援体制はあるか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業への支援体制はあるか	4
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3

高校との連携による教育・職業教育の取り組みが行われているか	3
-------------------------------	---

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

現状

インターンシップを行っている学校との連携は取れている。

課題と改善点

インターンシップを増やし連携が取ればよい。

昨年の課題と改善点

なし

6. 教育環境

評価

評価項目	採点
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3
海外研修などの実施の体制は整備されているか	3
防災に対する体制は整備されているか	4

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

現状

海外研修は現状グアムである。研修も取り入れていく。

課題と改善点

海外で美容に関わる研修になるようにしていきたい。

昨年の課題と改善点

なし。

7. 学生募集

評価

評価項目	採点
学生募集活動は適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
学費は妥当なものとなっているか	3

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

現状

効率的な募集活動を行って、結果を出さなければならない。

ガイダンスの回数が少ない。

課題と改善点

効果的な募集活動。

ガイダンスの参加回数を増やす。

昨年の課題と改善点

本校の強みや美容師免許取得の大切さを伝えていき周知する。

8. 財務

評価

評価項目	採点
中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	3
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務に関する会計監査は適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

現状

生徒は昨年に比べ増加している。

課題と改善点

今後も増加させていくためにどう動いていくか。

昨年の課題と改善点

昼間生が定員に達するようにガイダンス、オープンキャンパス、学校訪問に力を入れなければならない。

9. 法令などの遵守

評価

評価項目	採点
法令・専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に対し、その保護のための対策がなされているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

現状

遵守している。

課題と改善点

なし

昨年の課題と改善点

なし

10. 社会貢献・地域貢献

評価

評価項目	採点
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献が行われているか	3
学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4

※採点基準： 適切— 4 ・ ほぼ適切— 3 ・ やや不適切— 2 ・ 不適切— 1

現状

色々なイベントに参加している。

課題と改善点

なし

昨年の課題と改善点

学校の施設でのボランティアは親御様に対して行っている。

学生の接客力、技術向上となるボランティアを増やしていきたい。